

農業革新

自動化・ロボット化は
何をもたらすか？

2019 | 1 | 23 (水)

ステーションコンファレンス東京 602
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 6F

Session 1 これからの農業とロボット研究

- 12:00 **スマート農業の推進について**
青山豊久 (農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究総務官)
- 12:10 **農業・食品分野に係る Society 5.0**
久間和生 (農業・食品産業技術総合研究機構 理事長)
- 12:30 **ロボット研究と人材育成**
金出武雄 (カーネギーメロン大学 ワイタカー冠全学教授)

Session 2 農業の現状と課題

- 13:20 **農業の現状と課題**
村上則幸 (農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域領域長)
- 13:50 **北海道鹿追町の労働力現状と野菜の省力化**
今田伸二 (鹿追町農業協同組合 営農部 審議役)
- 14:10 **果実生産の現状とジョイント栽培の可能性**
柴田健一郎 (神奈川県農業技術センター 生産技術部 主任研究員)

Session 3 農業の自動化・ロボット化開発

- 14:30 **水稲栽培の現状と大規模複合経営**
福原昭一 (有限会社フクハラファーム 会長)
- 15:10 **農業の自動化・ロボット化開発**
深尾隆則 (立命館大学 理工学部 教授)
- 15:40 **果樹園自動走行車**
今井浩久 (ヤマハ発動機株式会社 UMS開発部 主査)
- 16:00 **トマト自動収穫ロボット**
長谷川貴巨 (株式会社デンソー FA事業部 担当係長)
- 16:20 **自動運転フォークリフト**
横町尚也 (株式会社豊田自動織機 技術・開発本部 開発第二部 室長)
- 16:40 **農業用無人運搬トラック**
前田元気 (スズキ株式会社 開発本部 システム開発課 係長)

人口減少が進む日本の地方において、農業の競争力を高めるとともに、魅力ある産業へと進化させるために、自動化やロボット化への期待は非常に大きくなっています。その研究開発の背景と現状を広く知っていただくために、シンポジウムを企画しました。また、新技術を現場へ定着させて地域の維持発展へつなげるためには、研究開発のみならず地域での活用面においても、人材の育成が重要です。そこで、関係諸氏にお集まりいただき、理解と議論を深める機会としたいと考えています。

参加申込 締切：2019年1月16日(水) ※先着260名

参加ご希望の方は 下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/agri190123>

